

## 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：企画調整費

### 事業名 【新】「匠の国ぎふ」の技を支える道具の保存・伝承事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 県民文化局文化伝承課 伝統文化係 電話番号：058-272-1111(内3149)

E-mail：c11148@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 8,000 千円 (前年度予算額：— 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	8,000	0	0	0	0	0	0	0	8,000
決定額	7,243	3,178	0	0	0	0	0	0	4,065

## 2 要 求 内 容

### (1) 要求の趣旨（現状と課題）

岐阜県には山樵技術や木工技術を活かした多数の文化財や伝統工芸が存在しているが、それらの職人が使うノミやカンナなどの手道具は県内に生産者がいないため、主に県外の道具産地から調達している状況である。

しかしながら、県が令和元年度から行った調査によると、その道具産地においても後継者不足・高齢化・需要減による廃業などにより、数年後には道具の供給が途絶える恐れがあるなど危機的な状況となっている。

#### <課題>

- ・後継者不足・高齢化
- ・道具の供給の不安定化
- ・原材料の枯渇

このような状況において、伝統技術を次の世代へ継承していくためには、県内の工芸職人・技術者等からの「道具」や「原材料」に関する相談を受け付け課題解決を支援することが必要である。

課題解決は、補助金や職人を紹介するだけでなく、道具を作れる職人がいないなどの困難な課題の場合には専門家会議で助言を得ながら調査を実施していく必要がある。

また、市町村とも情報を共有することでそれぞれの地域の伝統工芸品等の伝承にも繋げていく必要がある。さらに、これらの取組と成果を国内外に情報発信することで、同じ悩みを抱える職人同士が繋がったり、新たな情報が寄せられ、一層課題解決が進むなどの効果があると考えられる。

## (2) 事業内容

伝統技術を次の世代へ継承していくため、県内の工芸職人・技術者等からの「道具」や「原材料」に関する相談を受け付け課題解決を支援するとともに、次の事業を行う。

- 相談業務（道具、原材料、人に関する相談をワンストップで受付 等）
- 調査業務（重点課題の調査、道具の試作、代替原材料による試作、人材育成）
- 広報業務（報告会の開催、情報発信 等）
- 連携業務（連携会議の開催 等）

## (3) 県負担・補助率の考え方

本県の文化芸術資源の保存・継承のために必要な取組みとして、県の負担は妥当である。

## (4) 類似事業の有無

無

## 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額（千円）	事業内容の詳細
旅費	886	費用弁償、業務旅費
委託料	6,836	相談事業等業務委託
その他	278	講師謝金、事務消耗品ほか
合計	8,000	

### 決定額の考え方

事業内容を精査し、所要額を計上します。

## 4 参考事項

### (1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略  
施策編 3 (1) 地域の魅力・清流文化の創造・伝承・発信

### (2) 事業主体及びその妥当性

県内に残る伝統的建造物や伝統工芸に係る技術を確実に保存・伝承するため、それらを支える「道具」「原材料」に関する課題解決を支援する事業であり、県が事業主体となることは妥当である。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

県内の伝統技術を着実に保存・継承していくため、「道具」「原材料」に関する相談を受け付け、課題解決に向けた取り組みを推進する。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R 8)	達成率
相談・訪問件数 (年間)	/	/	/	30	30	/

○指標を設定することができない場合の理由

### （これまでの取組内容と成果）

令和 2 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 3 年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>
令和 4 年度	<p>令和6年度当初予算にて追加</p> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %</p>

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)            3 : 増加している 2 : 横ばい 1 : 減少している 0 : ほとんどない</p>	
(評価) 3	<p>県内の伝統技術を着実に保存・継承していくため、県内の工芸職人・技術者等からの「道具」「原材料」の課題を解決することは重要である。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)            3 : 期待以上の成果あり            2 : 期待どおりの成果あり            1 : 期待どおりの成果が得られていない            0 : ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価)	
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)            2 : 上がっている 1 : 横ばい 0 : 下がっている</p>	
(評価) 2	<p>実施にあたっては、専門家等の意見を踏まえ効率的に実施する。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>            伝統技術を次の世代へ継承するためには、「道具」「原材料」に関する課題解決を支援していく必要がある。</p>
---

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>            県内の伝統的建造物を含む文化財や工芸品を着実に保存・継承していくために、道具の伝承及び安定需給、人材育成に向けて、長期的視野に立った取組が必要である。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせる理由 や期待する効果 など</p>	